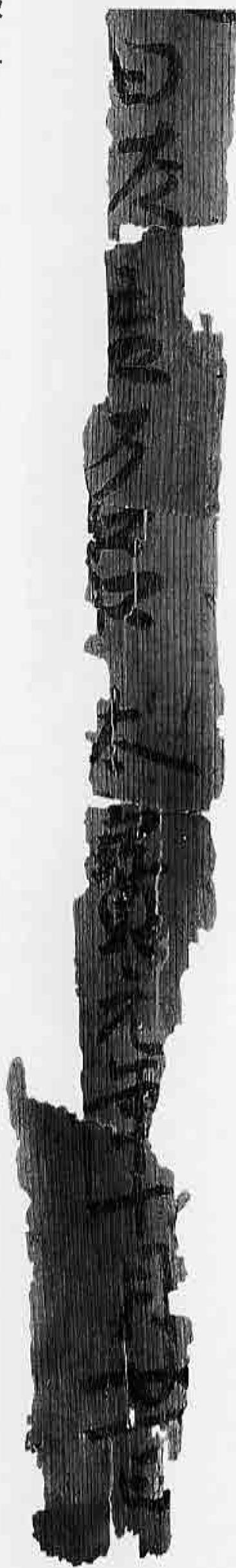


二〇〇六年一月

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(三)

奈良文化財研究所



3 (下)



3 (上)



3  
(60%)



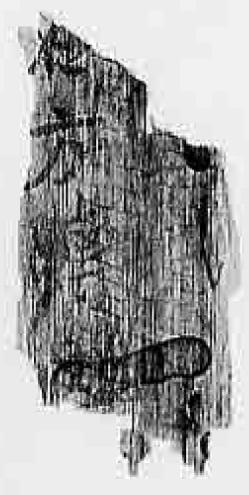
139



310



35



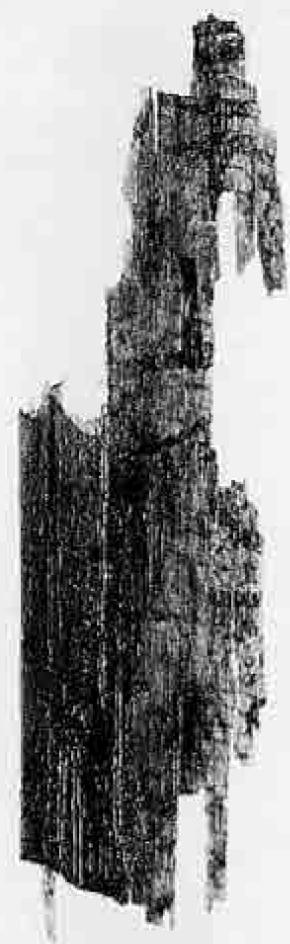
40



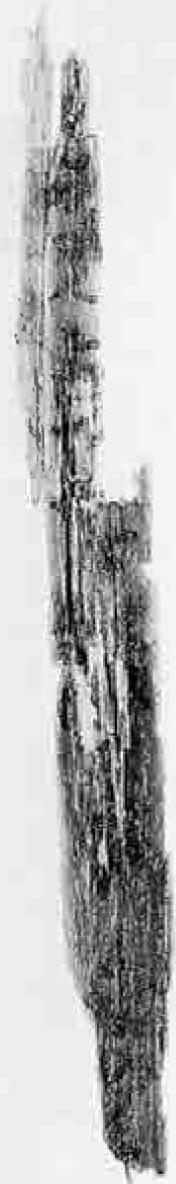
30



16



22



12



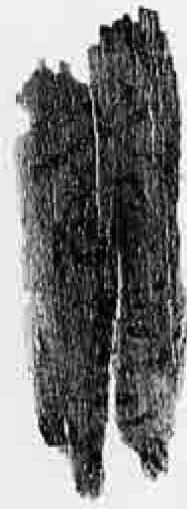
42



36



37



19



4



7



15



38



5



41



46



21

(1 : 1)



81



53



60



52



51



34



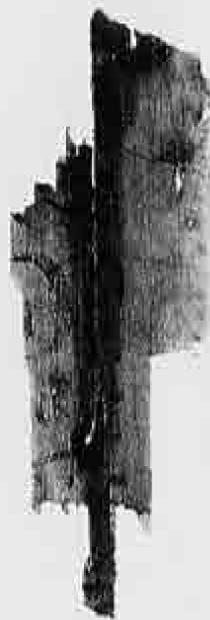
93



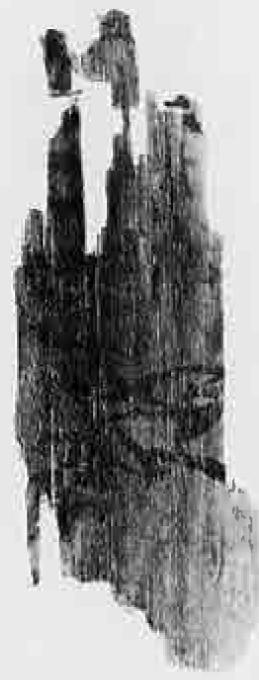
65



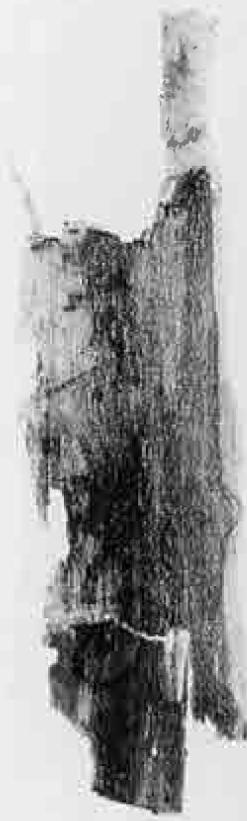
49



80



72



82



92



437



90



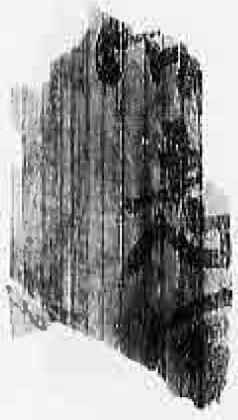
86



89



61



135



125



137



138



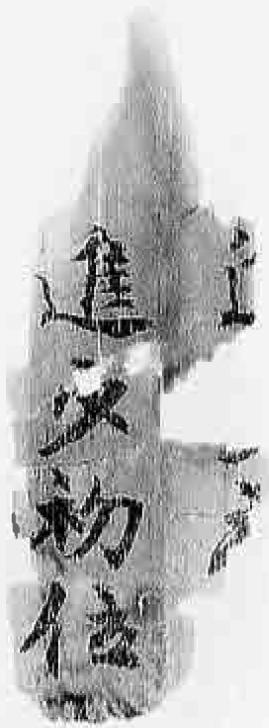
132



126



153



130



131



128



143



150



154



156



155



159



147



162



176



167



149



164



169



173



197



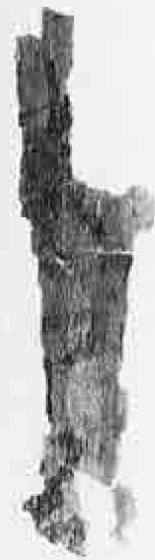
186



148



194



174



177



172



193



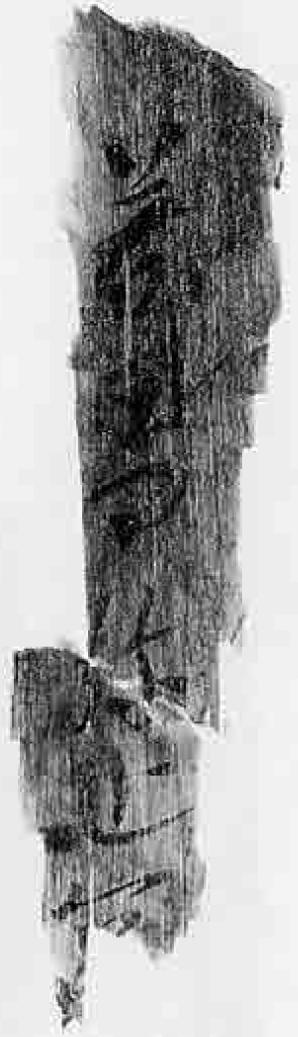
192



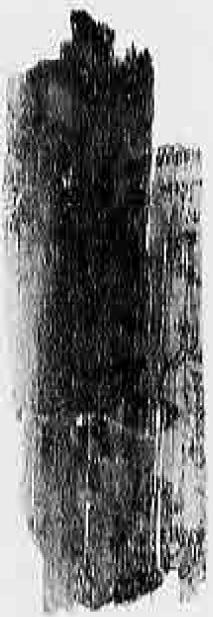
225



189



196



214



210



212



216



195



199



191



259



211



257



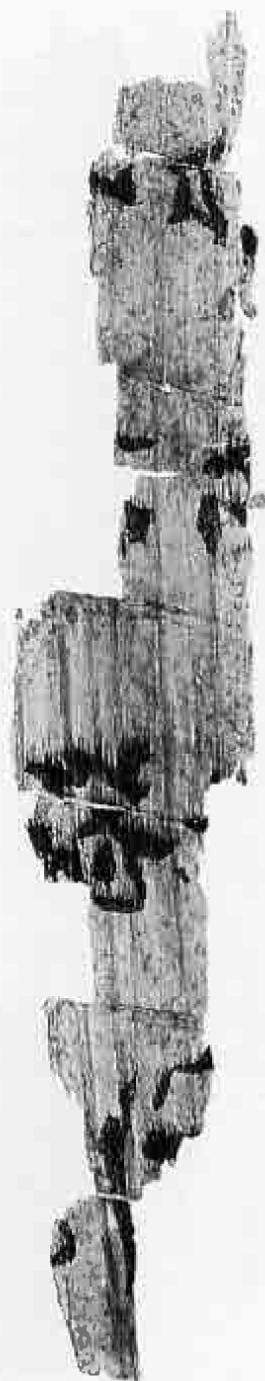
190



293



309



314



353



282



284



347



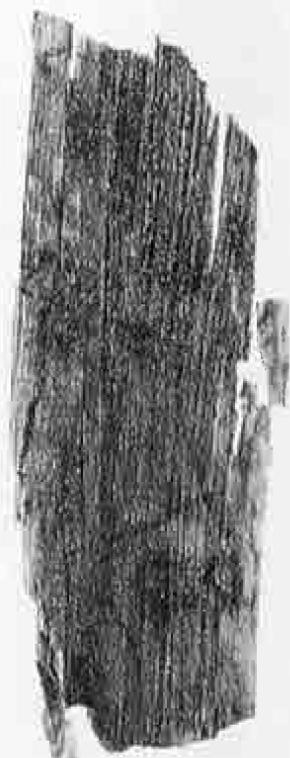
298



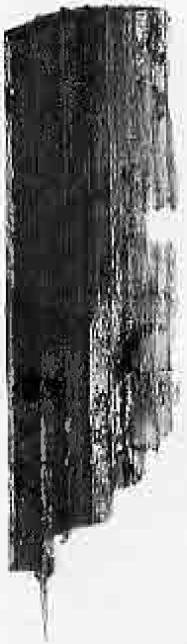
332



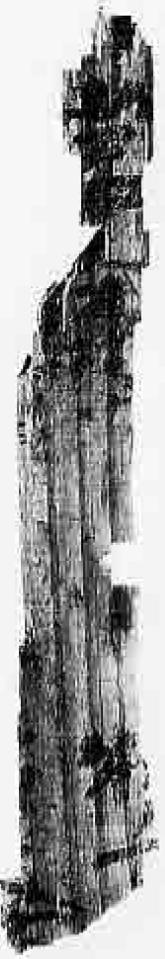
285



307



490



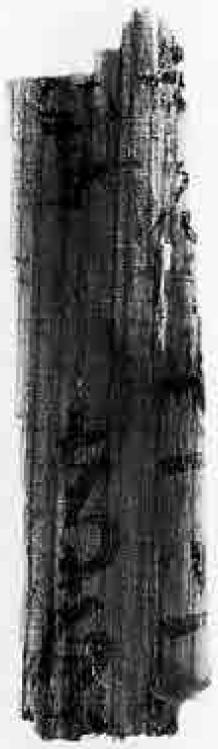
486



485



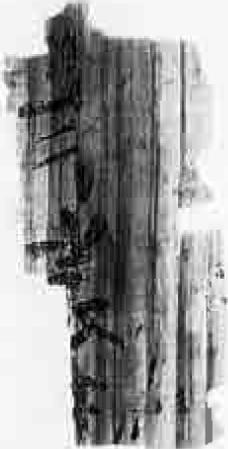
482



479



483



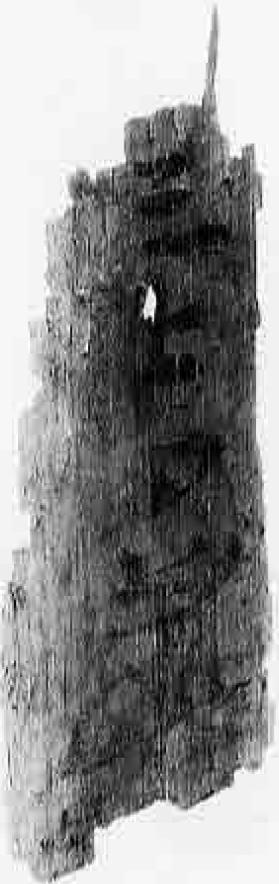
481



34



20



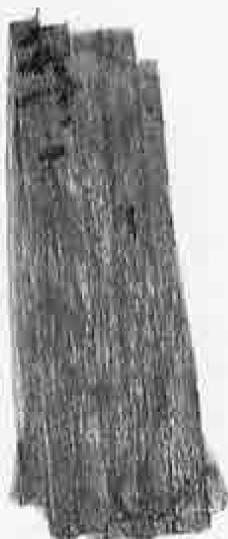
507



455



494



484



480

(1:1)

この概報には、『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十九)』(二〇〇五年一月。以下『概報十九』と略す)以後、二〇〇五年度に飛鳥藤原宮跡発掘調査部の行なった発掘調査で出土した木簡のうち、主要なものを収録する。木簡が出土したのは、①飛鳥藤原第一三六次(藤原宮朝堂院東第六堂)、②同第一三八―二次(藤原宮内裏・内裏東官衙地区)、③同第一四〇次(石神遺跡第一八次)の各調査である。ただし③は、遺構の検討・遺物の整理の最中であるため、次号に委ねる。また、二〇〇四年度以前に実施した調査のうち、④飛鳥藤原第一一五次(藤原京左京七条一坊西南坪、二〇〇一年度)、⑤同第一二八次(藤原宮朝堂院地区、二〇〇三年度)の各調査で出土した木簡も収録する。

④は『概報十六く十九』で報告したが、本号をもって完結となる。⑤は『概報十八・十九』の追加報告であるが、出土点数が多いため、次号でも引き続き取り上げる予定である。なお④⑤で『概報十六く十九』の訂正を要するものも掲載する。

このほか、『評制下荷札木簡集成』(二〇〇六年三月。以下『集成』)において、既報告の釈文を一部改めたものがあるので、それらも報告する。ただし、飛鳥池遺跡出土木簡については、二〇〇七年三月に木簡の正式図録を刊行する予定であるので、ここでは省略に従った。なお『集成』では、木簡の釈文・型式番号・出土遺構に一部誤りがあったので、あわせて報告する。新たな釈読の可能な部分も多々あると思われるので、ご意見を賜れば幸いである。

## 一、木簡の出土地点と状況

### 第一三六次調査(藤原宮朝堂院地区)

5AJG地区 二〇〇四年一〇月く二〇〇五年一月

藤原宮大極殿院・朝堂院地区は、すでに戦前に日本古文化研究所(以下、古文化研)によって部分的な発掘がなされており、基本的な建物配置などが明らかになっているが、建物の細部の構造など不明な点も少なくない。そこで奈良文化財研究所では、一九九九年より再発掘を行なっている。その八回目にあたる本調査では、朝堂院東第六堂の全体を対象とした。藤原宮の朝堂を全体的に発掘するのは、今回が初めてのことである。調査区の規模は南北三一m・東西六六く六七mで、面積は二〇六二m<sup>2</sup>。検出した主な遺構は、藤原宮直前期における掘立柱建物、東第六堂とその関連遺構、平安初期の屋敷地(掘立柱建物、区画塀、区画溝など)などである。

東第六堂SB一〇二〇〇は東西棟切妻造の瓦葺礎石建物である(図1)。建物規模は、桁行一二間(二四尺等間、約四九・三m)、梁行四間(身舎一〇尺等間、南北両庇各九尺、約一一・二m)。古文化研の報告では、棟通りにも礎石を据え付けるための根固め石があったとするが、今回の調査では東西妻部分を除いて、確認することはできなかった。基壇土築成土には石が入られ、とくに南北方向の柱筋に集中することから、これらの石を古文化研は根固め石と誤認した

可能性がある。ただし、東第二堂・東第三堂の調査では、棟通りで床束と考えられる小規模の礎石据付掘形を検出しており、東第六堂にも本来的には存在した可能性は残っている。

東第六堂の建設に際しては、基壇予定地の周辺をめぐらせるように、幅五〇cm・深さ五〇cm前後の素掘り溝を掘削している(図1)。これらの溝は排水の機能に加え、水をはって建物の水準を得るための機能をもたせた可能性がある。建物が完成すると、溝はすべて人為的に埋め立てられるが、その際に造営時の廃棄物である瓦大型片・木材はつり屑などが多数投棄されている。その後、基壇外周部は全体が整地され、礫敷舗装が行なわれている。この礫敷は基壇縁底部の四〇〜五〇cm外側から始まっており、その縁辺はほぼ直線状を呈している。この礫敷のない带状の部分には、壇上積基壇にみられる地覆石や延石に相当するものが設置されたと想定されるが、そのような痕跡はまったく確認できなかった。痕跡を残しにくい木製基壇であった可能性が考えられるかもしれない。

木簡は、東第六堂の東側に位置する南北溝SD一〇二〇三から五点出土した。前述の藤原宮造営期に掘削された溝のひとつである。SD一〇二〇三には、他の造営時の溝と同様、大量の木材はつり屑が棄てられており、その中に削屑五点が含まれていた。

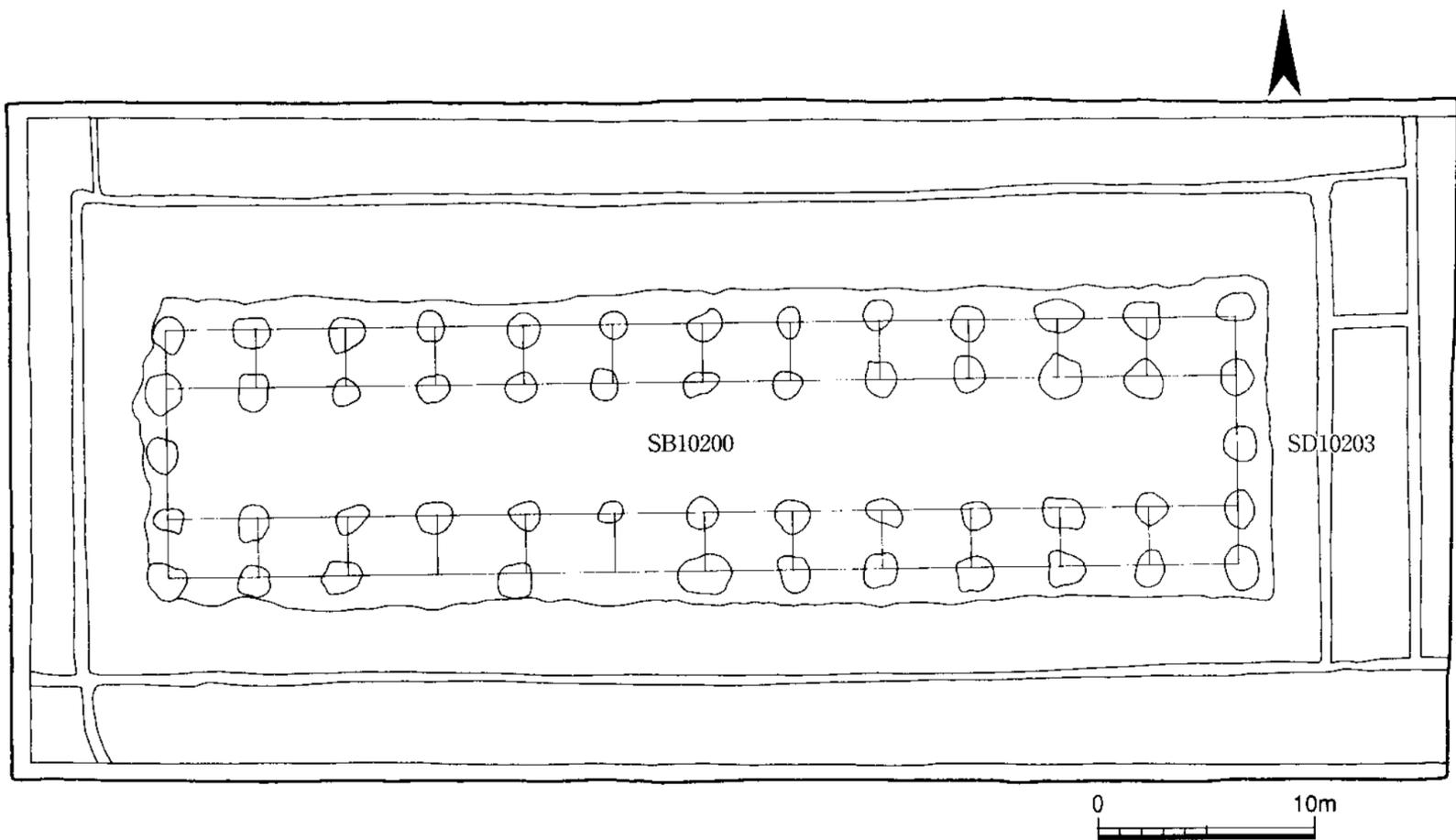


図1 第136次調査遺構図 1:500

第一三八一—二次調査（藤原宮内裏・内裏東官衙地区）

5AJF地区 二〇〇五年一月～二〇〇六年一月

市道の拡幅と路肩整備に伴う調査である。調査地は醍醐池の南辺のすぐ東側に位置し、藤原宮内裏および内裏東官衙地区にあたる。

市道を挟む調査区はAとDの四区に分かれ、幅四～六m、東西総延長一一八mで、発掘総面積は五五九㎡である。ここでは木簡の出土したC区にしぼって報告する(図2)。

C区で検出した藤原宮期の主な遺構は、内裏東外郭を画する南北塀SA八六五、藤原宮の南北基幹水路SD一〇五、南北棟掘立柱建物SB一〇四五五・一〇四六〇である。

このうちSA八六五にはB区で検出した東西塀SA一〇四四〇が西から接続し、この塀の西端で北に折れてA区で検出したSA一〇四二〇となる。また、これらの塀と併行する東西溝SD一〇四四五・南北溝SD一〇四二五がある。これにより、内裏東外郭中央部に一つの区画(東西四九・三m)が存在したことが確認された。

SD一〇五は、幅約四m、深さ約七〇cmの南北素掘り溝で、東西の護岸に柱穴や柱根がみられる。溝を挟んでSB一〇四五五・一〇四六〇の南妻が建ち、この二棟は同時期の建物と推定される。

木簡はSD一〇五の東の護岸の中層底部(黒灰粘土層)から一点出土した。溝の下層および中層は、流水により砂や木屑が層状に堆積し、

数度の浚渫を経た痕跡がある。本溝は藤原宮存続時に埋められ、礫敷舗装がなされるが、その後も溝として機能していた。その礫敷下の中層には、藤原宮期の土器を多量に含んでいる。

なお、SD一〇五からは、過去にも多くの木簡が出土している(『藤原宮木簡一』『概報九・十号』、『藤原宮』(奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第二十五冊)奈良県教育委員会、一九六九年、『藤原宮跡出土木簡概報』奈良県教育委員会、一九六八年)。

以上、発掘調査の詳細は『奈良文化財研究所紀要二〇〇六』(二〇〇六年)を参照されたい。

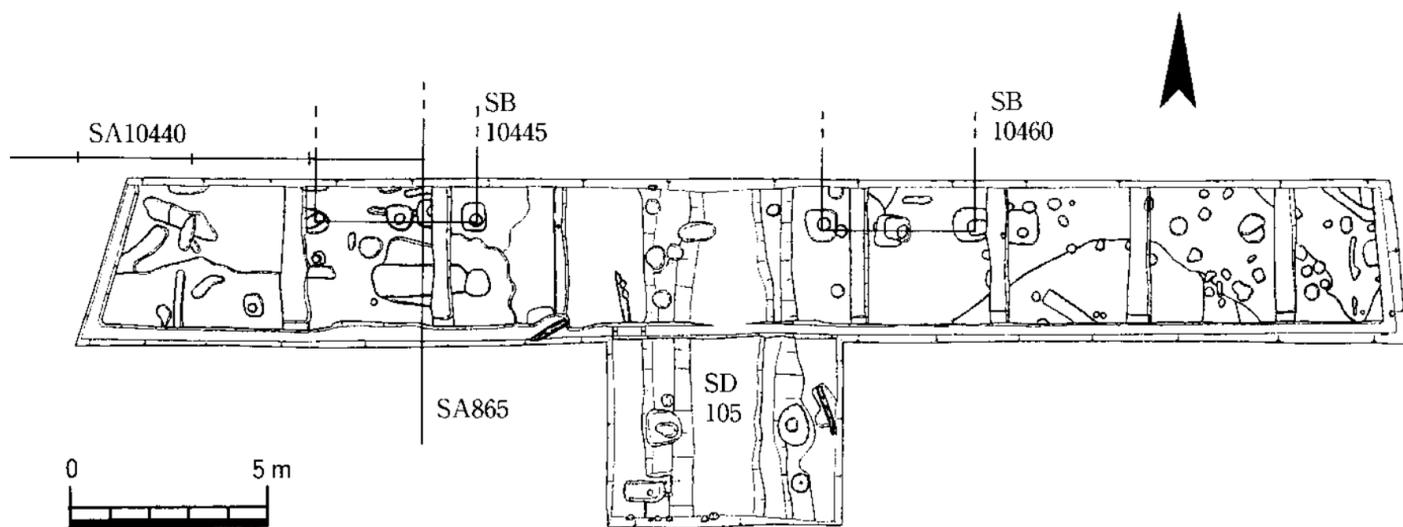


図2 第138-2次調査遺構図 1:300

## 二、凡例

(一) 木簡は内容により、文書、付札、その他の順に排列するのを原則とし、便宜的に通し番号を付した。

(二) 釈文の漢字は概ね現行常用漢字に改めたが、「寶」「貳」「抹」「汗」「廣」「邊」「各」(額)「寸」(村)「横」「當」「葛」「富」「通」などは、この字体を用いた。なお「部」の異体字「ア」と「マ」の違いは相対的なものである。

(三) 釈文に加えた符号は次のとおりである。

・ 木簡の表裏に文字がある場合、その区別を示す。

○ 木簡の上端もしくは下端に孔が穿たれていることを示す。

∴ 同一木簡と推定されるが直接接続せず、中間の一字以上が不明なことを示す。

□□□ 欠損文字のうち字数の確認できるもの。

□□□ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。

□□□ 欠損文字のうち字数が数えられないもの。

□□□ 記載内容から、上または下に一字以上の文字を推定したもの。

「」 異筆、追筆。

■ ■ ■ 抹消により判読が困難なもの。

々々 抹消部分の字画が明らかでない場合に限り、原字の左傍に付した。

(X) 文字の上に重書して原字を訂正している場合、訂正箇所  
の左傍に・を付し、原字を上のを領で右傍に示した。

┌ 合点。

〔 〕 校訂註のうち本文に置き換わるべき文字を含むもの。

( ) 右以外の校訂註、および説明註。

カ 編者が加えた註で、疑問が残るもの。

マ、 文字に疑問はないが、意味が通じ難いもの。

(四) 釈文下の右行上段のアラビア数字は、木簡の長さ・幅・厚さを示す(単位はmm)。欠損・二次的整形の場合、現存部分の法量を括弧つきで示した。長さ・幅は木簡の文字の方向による。

(五) 釈文下の右行中段に現在の遺存の形態を示す型式番号を記した。

なお端とは、木簡を木目方向においた時の上下両端をいう。

011型式 長方形の材(方頭・圭頭などもこれに含める)のもの。

015型式 長方形の材の側面に孔を穿ったもの。

019型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は011・015・032・041・051型式のいずれかと推定される。

021型式 小型矩形のもの。

022型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。

031型式 長方形の材の両端の左右に切り込みを入れたもの。方頭

・圭頭など種々の作り方がある。

032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みを入れたもの。

033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みを入れ、他端を尖らせたもの。

039型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は031  
・032・033・043型式のいずれかと推定される。

041型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状に作ったもの。

043型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にし、左右に切り込みをもつもの。

049型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にするが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。

051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。

059型式 長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は033・051型式のいずれかと推定される。

061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。(一)内に製品名

を註記した。

065型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

081型式 折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

091型式 削屑。

(一)内の番号は二次的整形の場合に推定できる原型の型式。

(六)釈文下の右行下段に出土地点を示す小地区名(アルファベット・数字)を記した。Zは地区不明を示す。複数の地区から出土した破片が接続したものは地区名を併記した。

(七)釈文の出土地点下に付した「\*」印は、口絵図版に写真を掲げた木簡を示す。例えば「\*2」は「図版二」に対応する。

(八)地名表記を持つ木簡の一部について、『和名類聚抄』にもとづいて地名を推定した。推定地名は説明註として釈文右行に記した。なお、地名推定に際しては、池邊彌『和名類聚抄郡郷里驛名考證』(吉川弘文館、一九八一年)などを参照した。

木簡の釈読は飛鳥藤原宮跡発掘調査部の市大樹・竹本晃が行ない、阿部健太郎・池尾直洋・桑原佳子・酒井健治・額田政男・吉水葉子の各氏の協力を得た。写真撮影には井上直夫があたり、現像・焼付は岡田愛が行なった。図版作成には稲田登志子・増田朋子・玉木学恵の各氏の助力を得た。本書の編集は市大樹・竹本晃が担当した。



27	賜	091 HI16
26	被力	091 HI16
25	被	091 HI16
24	奉	091 HI16
23	奉力状	091 HI16
22	奉上飛	091 HI16 *2
21	京上原力	091 HI16 *2
20	前力	091 HI16
19	前与力	091 HI16 *2
18	等	091 HI16
37	衛士	091 HI16 *2
36	衛士	091 HI16 *2
35	門部	091 HI16 *2
34	六日府力	091 HI16 *3
33	而	091 HI16
32	件力	091 HI16
31	災力止	091 HI16
30	善事	091 HI16 *2
29	加御力	091 HI16
28	日力追	091 HI16
47	宮	091 HI16
46	宮作	091 HI16 *2
45	宮六力	091 HI16
44	宮十力	091 HI16
43	宮門	091 HI16
42	宮門	091 HI16 *2
41	宮門一力	091 HI16 *2
40	右方膊内力	091 HI16 *2
39	衛力	091 HI16
38	衛	091 HI16 *2

57	逃 [逃力]	091 HI16	67	太	091 HI16	76	月	091 HI16
56	逃	091 HI16	66	太 [寶元九年九月]	091 HI16	75	月	091 HI16
55	逃	091 HI16	65	[卅七]遺	091 HI16 *3	74	[月]諸力	091 HI16
54	者逃	091 HI16	64	病	091 HI16	73	三月	091 HI16
53	枳逃	091 HI16 *3	63	病	091 HI16	72	三月 [和]	091 HI16 *3
52	逃 [頭力]	091 HI16 *3	62	[病]	091 HI16	71	[二]月力	091 HI16
51	逃一病	091 HI16 *3	61	[病]	091 HI16 *3	70	年 [八力]	091 HI16
50	夜逃	091 HI16	60	[病]佐	091 HI16 *3	69	年 [六力]	091 HI16
49	夕卅三	091 HI16 *3	59	[病]春了	091 HI16	68	元	091 HI16
48	宮	091 HI16	58	病人	091 HI16			



117	□五十□	091 HI16
116	□卅五□ 〔力〕	091 HI16
115	□廿六□ 〔力〕	091 HI16
114	廿四	091 HI16
113	□廿二□ 〔力〕	091 HI16
112	□廿一□ 〔力〕	091 HI16
111	□廿□	091 HI16
110	□十六□ 〔力〕	091 HI16
109	□十四□ 〔力〕	091 HI16
108	十二	091 HI16
107	十一	091 HI16
128	□下□ 〔力〕	091 HI16 *4
127	掬国	091 HI16
126	飯高評 (伊勢国飯高郡)	091 HI16 *4
125	□賜□ 〔力〕 〔川内国〕	091 HI16 *4
124	□三□ 〔力〕 百	091 HI16
123	百五□ 〔力〕	091 HI16
122	百五	091 HI16
121	□百三□	091 HI16
120	□百□ 〔力〕 二	091 HI16
119	百	091 HI16
118	□八十□	091 HI16
138	讚吉国	091 HI16 *4
137	不知山 (備後国沼隈郡諫山郷)	091 HI16 *4
136	土岡里 (播磨国神埼郡埴岡郷)	091 HI16
135	高志国	091 HI16 *4
134	□毛□ 〔力〕 野	091 HI16
133	毛野国□	091 HI16
132	□□ 〔力〕 上毛野	091 HI16 *4
131	国 上毛□ 〔力〕 野	091 HI16 *4
130	□度□ 〔力〕 毛里 (下総国葛飾郡度毛郷)	091 HI16 *4
129	掬	091 HI16

149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139
□ <sub>八</sub> 位力 □ <sub>下</sub> 山了宿祢 □ <sub>乎</sub> 力 □	正七位上矢 □ <sub>集</sub> 力 □	□ <sub>牟</sub> 力 義	□ <sub>汗</sub> 力 治	里	□ <sub>里</sub> □	本里	郡	□ <sub>評</sub>	国	狭間里杳了牛万呂
091 HI16 *5	091 HI16 *5	091 HI16 *4	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *4	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *1
159	158	157	156	155	154	153	152	151	150	
□ <sub>无</sub> 力 冠	□ <sub>上</sub> 力 大	□ <sub>位</sub> 力 上	廣貳五 廣參六	進廣肆	□ <sub>上</sub> 力 秦連五百枝	進少初位 □ <sub>初</sub> 力 □ <sub>上</sub> 力	□ <sub>進</sub> 力 大	進大	進大初位下…邊 □ <sub>史</sub> 力	
091 HI16 *4	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *4	091 HI16 *4	091 HI16 *4 153 下同一簡。	091 HI16 *4 154 下同一簡。	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *4	
170	169	168	167	166	165	164	163	162	161	160
□ <sub>佐</sub> 力	□ <sub>伯</sub> 了三名津	□ <sub>佐</sub> 力 伯	伴マ手子	大伴	大伴	大伴汗万呂	大伴牛万呂「□」	□ <sub>大</sub> 伴 □ <sub>君</sub> 力 □ <sub>白</sub>	冠	无位
091 HI16	091 HI16 *5	091 HI16	091 HI16 *5	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *5	091 HI16	091 HI16 *5	091 HI16	091 HI16

180	生□	091 HI16
179	木マ	091 HI16
178	□□〔木部カ〕	091 HI16
177	□木マ	091 HI16 *5
176	五百木マ宿祢	091 HI16 *5
175	□建□〔アカ〕	091 HI16
174	建ア□〔君カ〕	091 HI16 *5
173	□□〔少カ〕 山マ連□	091 HI16 *5
172	犬甘□〔君カ〕	091 HI16 *5
171	□多治比□宿祢宮□〔末カ〕	091 HI16
189	□□〔他カ〕 田□□ 〔人掃カ〕	091 HI16 *6
188	味君鳥	091 HI16
187	□□〔家カ〕 ア□	091 HI16
186	□□□〔三家カ〕 三家君□	091 HI16 *5
185	石上ア	091 HI16
184	物□〔マカ〕 □	091 HI16
183	物ア	091 HI16
182	□□〔物アカ〕 □	091 HI16
181	□物ア□〔連カ〕	091 HI16
198	□□〔三枝アカ〕	091 HI16
197	白髪ア□	091 HI16 *5
196	若田ア弥止富	091 HI16 *6
195	矢田ア□	091 HI16 *6
194	□□□〔八田カ〕 ア□忍男	091 HI16 *5
193	□□〔田カ〕 邊□	091 HI16 *6
192	安曇□	091 HI16 *6
191	中臣	091 HI16 *6
190	□□〔他カ〕 田□	091 HI16 *6

208	207	206	205	204	203	202	201	200	199	
□子ア	□□王アカ	田ア	各田マ子	□□丈アカ	丈□アカ	丈ア	丈ア	丈ア□大カ	三枝□アカ	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *6	
219	218	217	216	215	214	213	212	211	210	209
□□連豊カ	□□可連カ	臣	□□臣弥カ	□□宿祢カ	□□宿祢東カ	□宿祢小	□マ宿祢	朝臣□山カ	□マ朝臣	神
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *6	091 HI16	091 HI16 *6	091 HI16	091 HI16 *6	091 HI16 *6	091 HI16 *6	091 HI16
229	228	227	226	225	224	223	222	221	220	
□ア□小カ	□部古安	□□□止ア田カ	□□□若□□下アカ	□ア古尼万呂	原寸主□	□造東□	□□史カ	□連	□連	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *6	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	

240	239	238	237	236	235	234	233	232	231	230
古万呂	□智万呂	ア	部	□マ □カ	□ア	□ア	□マ □カ	□ア □	ア石	ア大 □国カ
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
250	249	248	247	246	245	244	243	242	241	
麻呂	□麻呂	□安 □麻カ	□万 □呂カ	万呂	万呂	□万呂	□万呂	□万 □呂カ	□ □万呂	□ □万呂
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
261	260	259	258	257	256	255	254	253	252	251
道方	□ □枇 □根	□大 □津カ	□友 □足カ	□小家	□呂 □カ	呂	呂	□呂	□呂	麻
091 HI16	091 HI16	091 HI16 *6	091 HI16	091 HI16 *6	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16

271	270	269	268	267	266	265	264	263	262
□ 年	首	鳥	鳥	□ 鳥	□ <sub>鳥</sub> □ <sub>力</sub>	□ 人	智 <sub>佐</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>宿</sub> □ <sub>男</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>廣</sub> □ <sub>田</sub> □ <sub>力</sub>
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
279	278	277	276	275	274	273	272		
□ <sub>膳</sub> □	□ <sub>宮</sub> □ <sub>力</sub> □	□ <sub>智</sub> □ <sub>宮</sub> □	□ <sub>王</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>王</sub>	□ <sub>日</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>足</sub> □ <sub>力</sub> □ <sub>鐵</sub> 机	□ <sub>九</sub> □ <sub>月</sub>		
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 <small>272 下同一簡。</small>	091 HI16 <small>273 下同一簡。</small>		
287	286	285	284	283	282	281	280		
佐	佐 □	□ <sub>位</sub> □ <sub>下</sub> □ <sub>力</sub> □ <sub>九</sub> □ <sub>伯</sub>	□ <sub>門</sub> □	□ <sub>的</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>御</sub> □ <sub>衣</sub> □ <sub>力</sub> □ <sub>門</sub> □	厨	□ <sub>同</sub>		
091 HI16	091 HI16	091 HI16 *7	091 HI16 *7	091 HI16	091 HI16 *7	091 HI16	091 HI16		



321	籠教力	091 HI16	329	斗	091 HI16	338	四	091 HI16
	籠力							
320	廣籠力	091 HI16	328	匹力	091 HI16	337	二白	091 HI16
319	籠螺	091 HI16	327	匹	091 HI16	336	貳	091 HI16
318	脯	091 HI16	326	匹	091 HI16	335	石	091 HI16
	干力							
317	鮭鳥力	091 HI16	325	從	091 HI16	334	分力	091 HI16
316	端	091 HI16	324	替	091 HI16	333	連	091 HI16
315	端	091 HI16	323	橫御	091 HI16	332	斤	091 HI16 *7
				中力			尋	
314	綿	091 HI16 *7	322	籠力	091 HI16	331	升	091 HI16
			330	斗	091 HI16	340	五	091 HI16

350 ヌ 091 HI16  
 349 ア □ 091 HI16  
 348 □ ア 091 HI16  
 347 了臣 □ [朝カ] 091 HI16 \*7  
 346 百 091 HI16  
 345 □ 百 091 HI16  
 344 □ 卅四 □ 091 HI16  
 343 □ 廿 □ □ 091 HI16  
 342 □ 九 091 HI16  
 341 □ 六 091 HI16

358 木 □ [国カ] 091 HI16  
 357 次 091 HI16  
 356 □ □ [次] □ 091 HI16  
 355 □ □ 功 □ □ □ □ □ □ 091 HI16  
 354 □ □ 録 091 HI16  
 353 □ □ 邊 録 □ 091 HI16 \*7  
 352 □ □ 呂 091 HI16  
 351 □ □ □ □ 091 HI16

367 下 091 HI16  
 366 □ 上 □ 091 HI16  
 365 □ 中 □ 091 HI16  
 364 □ □ □ [足カ] 091 HI16  
 363 □ □ 加 091 HI16  
 362 □ □ □ [麻カ] 091 HI16  
 361 御 091 HI16  
 360 □ □ □ [御カ] 091 HI16  
 359 □ □ 只 091 HI16

376	375	374	373	372	371	370	369	368
皮豆 〔之不足〕 (重書)	罍	袋	罍	罍	舍	〔又〕 (重書)	〔力〕	本
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
386	385	384	383	382	381	380	379	378
衆	〔百〕 〔百力〕	〔大〕 〔大力〕	〔連〕 〔連力〕	奉奉	賜賜	賜賜	賜賜	道道子子
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
394	393	392	391	390	389	388	387	
徳	志	道	卑	思志	光	〔衆力〕	衆	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	

※ 386  
389  
は同一簡。

403	402	401	400	399	398	397	396	395	
多奈 □	□支 □	□ □皮 □	守 □	〔三 人 物 カ〕 □	□〔呂 カ〕 長 □	奈々 □木	三 マ 三 □ □	□ □〔左 カ〕 □	
160 91H116	401 下同 一簡。 160 91H116	402 下同 一簡。 160 91H116	399 下同 一簡カ。 160 91H116	400 下同 一簡カ。 160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	
413	412	411	410	409	408	407	406	405	404
□ 立 □	□ □〔足 カ〕 □	□吉 □	□守 □	□虫 □	□子 □	□〔阿 美 カ〕	□〔多 我 カ〕 □	□知文	□移〔奈 カ〕 □
160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116
423	422	421	420	419	418	417	416	415	414
黒 □	黒 □	□皮	□支	□〔矢 天 カ〕	肆〔穴 カ〕 □	□〔真 カ〕 □	□ □〔真 カ〕 □	□下 □	経 □ □
160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116	160 91H116

433	432	431	430	429	428	427	426	425	424	
勾 □	道 □	□ <sub>方</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>買</sub>	□ <sub>使</sub>	首 □	□ <sub>无</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>古</sub> □ <sub>力</sub>	□ <sub>志</sub>	黒 □	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	
443	442	441	440	439	438	437	436	435	434	
无	无	長	支	□ <sub>志</sub> □ <sub>力</sub>	山	□ <sub>底</sub>	関 □	□ <sub>立</sub>	□ <sub>立</sub>	
091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16 *3	091 HI16	091 HI16	091 HI16	
452	中世堆積層(西区)		451	450	449	448	447	446	445	444
□ <sub>五十戸</sub> □ <sub>止</sub> □ <sub>力</sub>			□ <sub>白</sub> □ <sub>力</sub>	人	西	表	宇	大	自	多
(121)・16・4 上折れ。			091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16	091 HI16
019 H019										

第一二八次調査(5AJG地区)

南北溝SD九八一五

460	459	458	457	456	455	454	453		
斗 大	六 斗	塩	粮布	橡 莫	病	四 月	白		
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 *8	091 EF70	091 EF70		
470	469	468	467	466	465	464	463	462	461
郡	弥郡	郡 三 里	水海	百	十	五	并八十	莒	七升
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
479	478	477	476	475	474	473	472	471	
王 ア 葛	小 丁	乙大	里上	田里	里	田里	里 丈 ア	郡	
091 EF70 *8	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	

487	486	485	484	483	482	481	480
□ <sub>上</sub> □ <sub>已</sub> 物ア虫万 〔カ〕	□常国 □物ア	□ <sub>事</sub> □ <sub>首</sub> □ <sub>人</sub> □ <sub>年</sub> □ <sub>廿</sub> □ <sub>九</sub> 〔カ〕〔カ〕〔カ〕〔カ〕〔カ〕	手 ※479 ↳484、 □ <sub>は</sub> □ <sub>同</sub> □ <sub>一</sub> □ <sub>簡</sub> □ <sub>カ</sub> 。	皮□多	□十里□□□	□ア□ <sub>蓑</sub> □ <sub>末</sub> □ <sub>カ</sub>	ア□□ <sub>言</sub> □ <sub>力</sub> □□ <sub>大</sub> □ <sub>カ</sub>
091 EF70	091 EF70 *8	091 EF70 *8	091 EF70 *8	091 EF70 *8	091 EF70 *8	091 EF70 *8	091 EF70 *8
496	495	494	493	492	491	490	489
□志□ <sub>連</sub> □ <sub>カ</sub>	五若□ <sub>呂</sub> □ <sub>之</sub> □ <sub>カ</sub>	□ <sub>斗</sub> □ <sub>齐</sub> □ <sub>人</sub> □	□ <sub>君</sub> □ <sub>大</sub> □ <sub>中</sub> □ <sub>カ</sub>	丈□ <sub>ア</sub> □ <sub>カ</sub>	□ <sub>丈</sub> □ <sub>ア</sub>	□ <sub>丈</sub> □ <sub>丈</sub> □ <sub>カ</sub>	□ <sub>春</sub> □ <sub>日</sub> □ <sub>マ</sub> □ <sub>カ</sub>
091 EF70	091 EF70	091 EF70 *8	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 *8	091 EF70
497	498	499	500	501	502	503	504
□ <sub>文</sub> □ <sub>連</sub> □ <sub>カ</sub>	他田大長	八田□□	山人国	塩屋□	□ <sub>若</sub> □ <sub>三</sub> □ <sub>枝</sub> □ <sub>ア</sub>	□ <sub>刑</sub> □ <sub>ア</sub>	刑
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70
505	506						
□ <sub>若</sub> □ <sub>犬</sub> □ <sub>カ</sub>	若桜マ□□□						
091 EF70	091 EF70						

517	516	515	514	513	512	511	510	509	508	507
ア <small>〔曾カ〕</small>	ア法	ア <small>〔豊カ〕</small>	ア真	ア多	ア長田	衣ア	ア <small>〔連人カ〕</small>	ア臣山	川瀬ア	三上ア羊
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70 *8					
527	526	525	524	523	522	521	520	519	518	
杵 <small>〔杵カ〕</small>	中 <small>〔中カ〕</small>	哭大	之之之是是	人 <small>〔人カ〕</small>	呂	呂	末	末 <small>〔呂カ〕</small>	麻 <small>〔麻カ〕</small>	
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70						
537	536	535	534	533	532	531	530	529	528	
教 <small>〔教カ〕</small>	蔡	西 <small>〔一カ〕</small>	大 <small>〔龍カ〕</small>	龍	廣 <small>〔廣カ〕</small>	人唐	小根	遠 <small>〔遠カ〕</small>	支波	
091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70	091 EF70						

538	<input type="checkbox"/> 軍 <input type="checkbox"/> 力	091 EF70	542	<input type="checkbox"/> 服	091 EF70
539	<input type="checkbox"/> 上	091 EF70	543	国	091 EF70
540	<input type="checkbox"/> 土	091 EF70	544	宮	091 EF70
541	<input type="checkbox"/> 公	091 EF70	545	君	091 EF70

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報の釈文訂正

※木簡番号は前号による。

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報 (十六)

**40** ノ海犬甘連 久人 力  
(147)・(12)・3 051 H117

**43** 山 マ 万呂  
的門 万呂 呂力  
白上マ連安万呂

(333)・(17)・5 081 H117

**64** 意弘 万呂 力  
142・(23)・5 081 H115

**99** 大加マ嶋二斗  
105・28・6 032 H115

**47** 海犬甘連 久人 力  
(65)・(5)・4 081 H116

**156** 伊世私造嶋麻 呂力  
(110)・(9)・5 081 AM77

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十八)

20 (大和国葛下郡山直郷)〔船カ〕  
□葛木下郡山ア里□田□ 091 EF70 \*8

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十九)

290 〔黒カ〕  
□羽矢二 091 HJ16

34 〔□〕 大伴ア鳥  
□〔□〕 〇丈マ意美 右二丁之中 091 EF70 \*8  
通

評制下荷札木簡集成による釈文等の訂正 ※木簡番号は評制下荷札木簡集成による。

藤原宮木簡(一)

224 吉備道中国浅口評神ア (169)・(11)・4 081 KM34 藤1-82号

135 三方評竹田ア里人 栗田戸世万呂 塩二斗 171・24・4 031 KM34 藤1-145号

129 小丹評從〔車カ〕里人  
・ 移ア止己麻尔侶皮 一斗半 147・30・3 011 KM32 藤1-148号

151 丙申年七月旦波国加佐評〔椋カ〕  
(180)・16・3 019 KM29 藤1-155号

99 己亥年九月三野国各〔牟カ〕  
・ 汗奴麻里五百木ア加西俵 (163)・24・4 019 KM40 藤1-160号

32 甲午年九月十二日知田評  
・ 阿具比里五〔木カ〕ア皮嶋□養米六斗 213・28・4 031 KM35 藤1-162号

185 海評中〔田カ〕里  
支止軍布 97・20・3 031 KN34 藤1-163号

245 宇和評小物代贄 199・20・4 031 KM29 藤1-165号

33 辛卯年十月尾治国知多評  
・ 入見里神ア身開三斗 213・38・5 032 KM31 藤1-166号

210 神前評□山里 104・16・3 031 KM29 藤1-170号

182 海評三家里人 日下了赤□  
軍布 98・20・3 031 KM30 藤1-171号

56 寸松里人海了国麻呂二  
□□ 149・26・3 032 KM28 藤1-173号

57 乙未年御調寸松 121・25・3 032 KM29 藤1-175号

117 丁酉年 若佐国小丹□□生里  
秦人□□己力二斗 131・16・3 011 KM32 藤1-182号

216 己亥年十月吉備□□中力  
評軽了里□ (114)・24・3 039 KM32 藤1-183号

76 丙申□年力□□国鹿力□取□  
(98)・24・2 039 KM29 藤1-193号

196 次評□ 105・16・2 031 KM38 藤1-209号

藤原宮木簡(二)

99 癸未年十一月 三野大野評阿漏里  
□□漏人□□白米五斗  
〔阿力〕 (169)・24・3 059 K133 藤2-544号

115 壬午年十月□□毛野  
〔芳□□評力〕 90・20・4 031 K133 藤2-545号

207 穴栗評山守里  
山了赤皮□□ 127・20・7 032 K033 藤2-548号

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(六)

128 戊戌年 〔若狭国小丹生岡力〕  
□□□□□□調塩二斗  
〔秦人船力〕 109・25・4 011 Q029 飛6-13頁下

137 三方評 竹田了里人  
和尔了大伴塩二斗 132・27・3 051 QM29 飛6-13頁下

165 楯縫評乃呂志里物了知米為□□  
(166)・24・2 039 QH29 飛6-14頁上



26 ・ 尔破評佐匹了  
・ 俵 (130)・22・3 033 RL73 飛16-172号

314 □□ □人六人ア□  
(103+28)・25・2 032 RM81 飛16-173号

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十七)

102 ・ 乙丑年十二月三野国ム下評  
・ 大山五十戸造ム下ア知ツ  
・ 従人田ア兒安 152・29・4 032 RQ77 飛17-34号

31 ・ 尾治国山田評山田五十戸人カ  
・ 三家人アカ  
・ □□□万呂米五斗 213・29・3 032 RQ75 飛17-49号

85 ・ 伊香評柏原  
・ □□□ (145)・23・5 039 RQ76 飛17-50号

25 ・ 川嶋五十カ  
・ □赤カ  
・ □俵 77・21・3 032 RP75 飛17-53号

258 ・ □道評原五十戸  
・ □俵 (88)・20・3 039 RQ80 飛17-54号

55 ・ 飽海カ  
・ 委文ア評大辟ア五十戸人カ  
・ □□□ 俵  
・ □委文カ  
123・24・6 032 QA76 飛17-79号

86 角里山君万呂米五  
177・22・6 051 QA76 飛17-80号

187 海評  
・ □□  
・ □軍カ  
(56)・23・5 039 QA76 飛17-82号

254 ・ 可毛評  
・ 五十戸  
(37)・18・2 039 QA77 飛17-83号

269 ・ 評  
・ 俵 (39)・(17)・3 039 QB75 飛17-84号

331 ・ □ア牧夫  
・ □斗入俵 斗  
(70)・21・3 019 QB75 飛17-85号

318 □□贊久々□  
(85)・25・5 081 QC76 飛17-86号

46 〔庚寅力〕  
□□年十二月三川国鴨評

・山田里物ア□□□米五斗  
(177)・25・3 032 QB76 飛17-93号

88 乙酉年九月三野国不□

・評新野見里人止支ツ 俵六斗  
170・25・3 011 QB77 飛17-94号

100 各牟評汗□  
(80)・25・4 039 RQ80 飛17-106号

97 〔三力〕  
□野国厚見評草田五十戸

・□田力〕  
□ア支田□□米五斗  
(145)・22・5 039 QC77 飛17-127号

268 評五十戸

・山ア□□麻呂力〕  
78・18・3 051 QA74 飛17-143号

139 従者五十戸人□田力〕  
185・22・5 033 RQ81 飛17-155号

11 奈波利評□□〔奈力〕  
□田ア□□ (76)・(15)・3 081 RR74 飛17-159号

220 比皮五十戸  
□□□ (94)・17・5 081 RR79 飛17-160号

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(十八)

271 戊寅年高井五□□  
170・20・4 032 EF70 飛18-56号

206 佐由評中川里□□〔秦ア力〕  
田加米俵□□  
132・25・3 032 QF75 飛18-76号

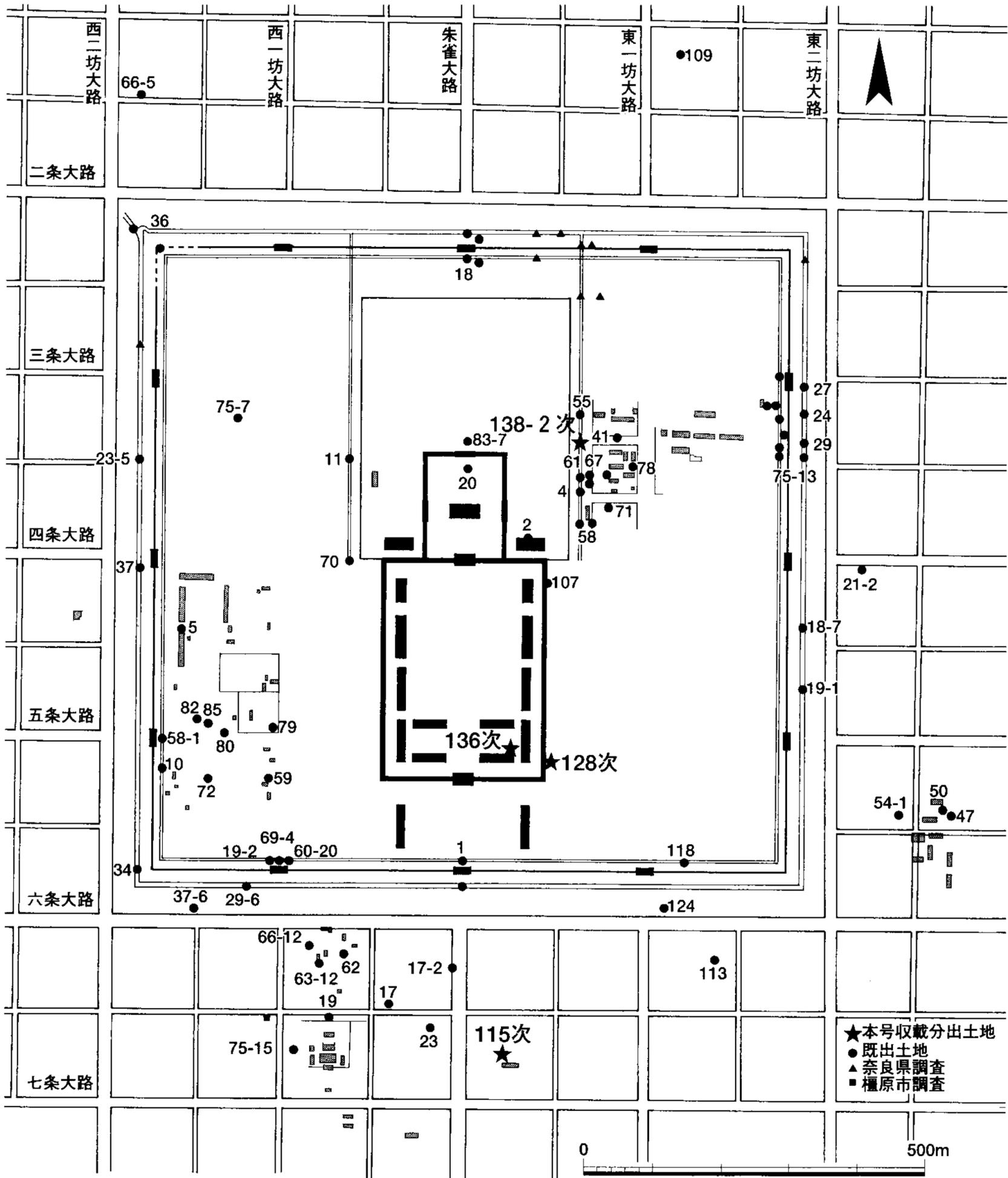
259 高屋五十戸□□□〔支力〕  
□□□評  
(88)・25・5 039 QH80 飛18-84号

44 壬辰年九月□□〔廿四力〕  
高椅里 物ア□□乃井六斗  
(210)・24・5 039 QF76 飛18-89号

39 三川□□見評□□〔青力〕  
(107)・26・4 039 QI78 飛18-103号

144 〔旦力〕  
□波国多□□評□□〔貴力〕  
(109)・18・3 039 QE75 飛18-110号





藤原宮木簡出土地 1:10000

二〇〇六年十一月二十日 印刷  
二〇〇六年十一月二十四日 発行

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(三)

編集・発行

独立行政法人文化財研究所  
奈良文化財研究所

〒六三〇―八五七七

奈良市二条町二丁目九十一

TEL 〇七四二(三四)三九三二

FAX 〇七四二(三〇)六八三〇